

熊野水軍小山家文書の総合的研究

期間：2018年4月1日～2021年3月31日

〔代表者〕坂本亮太（和歌山県立博物館）

〔共同研究者〕

藺部寿樹（山形県立米沢女子短期大学）

北野隆亮（和歌山市文化スポーツ振興財団）

高橋 修（茨城大学）

呉座勇一（国際日本文化研究センター）

春田直紀（熊本大学大学院）

佐藤純一（白浜町教育委員会）

弓倉弘年（和歌山県立桐蔭高等学校）

白石博則（大阪府立貝塚南高等学校）

関口博巨（日本常民文化研究所）

紀南武士の拠点

——安宅氏・小山氏を中心に——

研究代表者 坂本 亮太

【目的】

近年、これまで所在不明とされてきた紀州小山家文書の再発見が相次いでいる⁽¹⁾。そのため、小山家文書の整理と公開、さらには各小山家文書（二部・神宮寺・久木・西向）の集成と総合的な研究が求められている現状にある⁽²⁾。西向小山家文書を調査・公開した神奈川大学日本常民文化研究所が蓄積する成果も活用しながら⁽³⁾、近年現地で大きな成果があがっている城郭史・考古学と協業することで⁽⁴⁾、熊野水軍（紀南武士）の動態と紀伊半島・紀伊水道海域史を学際的に解明することが、本共同研究の大きな目的である。

【2018年度の活動および成果】

2018年度は、和歌山県立博物館が所蔵する久木小山家文書の原本調査を実施し、文書1点ごとの調書作成を行い（写真2）、中世文書については全点の調書の作成を終了させることができた。また考古学的には、日置川下流域で安宅氏が本拠とした安宅本城跡の調査を進め（写真3）、遺構の存続期間・遺物組成などのデータを得ることができた。あわせて、紀南の現地踏査を行い、安宅氏・久木小山氏・鶴殿氏・西向小山氏・高川原氏など中世紀南武士の拠点の様相を概ね把握することができた（写真4）。

【今後の課題】

今後は、小山家文書の補充調査を行いつつ、近世文書（特に由緒書など）にも目配りしながら、小山家文書を活用した研究を進めていく必要がある。また考古学的な調査・研究については、和歌山県内の主要な中世遺跡の遺物組成と比較をしつつ、さらに阿波の状況・遺物との関連など、紀伊半島・紀伊水道の流通・地域間交流状況の復原・検討を行う必要がある。そのうえで文書史料との関係など、学際的な検討を進めていくことが求められよう。さらに小山家文書の分析とあわせて、関連寺社等の文化財調査なども含め、紀南武士の拠点の景観復原にも努めたい。



写真1 第1回研究会・打合せ (2018年6月4日)

写真2 久木小山家文書の調査
(2018年11月3～5日)

写真3 安宅本城跡遺物調査 (2019年2月7～8日)

写真4 串本町現地調査 日吉神社什物類の調査の様子
(2019年2月27日～3月2日)

【注】

- (1) 坂本亮太「熊野水軍小山氏をめぐる資料」(『和歌山県立博物館研究紀要』22～24号、2016～2018年)。
- (2) 網野善彦『日本中世史料学の課題——系図・偽文書・文書——』(弘文堂、1996年)。
- (3) 神奈川大学日本常民文化研究所編『紀州小山家文書』(日本評論社、2005年)。
- (4) 日置川町史編さん委員会編『日置川町史』第1巻中世篇(2005年)、高橋修編『熊野水軍のさと 紀州安宅氏・小山氏の遺産』(清文堂、2009年)、白浜町教育委員会・安宅荘中世城郭発掘調査委員会編『安宅荘中世城郭群総合調査報告書』(2014年)。

■ 2018年度の活動

- 2018年度第1回共同研究会、打合せ 2018年6月4日
日本常民文化研究所 坂本亮太・北野隆亮・呉座勇一・佐藤純一・藪部寿樹・春田直紀・関口博巨・越智信也、中世地下文書研究会7名
- 久木小山家文書調査、日置川流域踏査 2018年11月3日～5日
和歌山県立博物館、日置川流域(日置川拠点公民館・小山家屋敷跡・安宅本城跡等) 坂本亮太・呉座勇一・佐藤純一・藪部寿樹・春田直紀・弓倉弘年、中世地下文書研究会3名
- 熊野別当堀内家文書調査 2019年1月28日 天理大学附属天理図書館 坂本亮太
- 豊臣秀吉朱印状調査 2019年1月29日 岐阜市歴史博物館 坂本亮太
- 田中繁三氏旧蔵文書調査 2019年2月1日 三重県総合博物館 坂本亮太
- 安宅本城跡出土遺物調査 2019年2月7日～8日
日置川拠点公民館(和歌山県西牟婁郡白浜町) 坂本亮太・北野隆亮・佐藤純一・呉座勇一
- 徴古雑抄(阿波国)調査 2019年2月13日～15日 国文学研究資料館、日本常民文化研究所 坂本亮太
- 徳島県現地踏査・郷土資料調査 2019年2月18日～19日
鶴林寺(徳島県勝浦郡勝浦町)、海陽町立博物館(海部郡海陽町)、徳島県立図書館(徳島市)、牛岐城跡、地藏庵跡、泉八幡宮(阿南市)、中郷城跡(小松島市) 坂本亮太
- 熊野川周辺遺跡・城館跡調査、西向小山氏関連地踏査、久木小山家文書(中世文書分)調書(翻刻・寸法計測)作成、近世文書・由緒書類調査 2019年2月27日～3月2日 大泰寺(東牟婁郡那智勝浦町)、新宮城下町遺跡(新宮市)、鶴殿城跡・鶴殿一族石塔群(三重県南牟婁郡紀宝町)、日吉神社・六勝寺・橋爪家屋敷跡・蔵土宝篋印塔(東牟婁郡古座川町)、古城山城・小山井戸・成就寺・稲荷神社・城山(東牟婁郡串本町)、和歌山県立博物館(和歌山市) 坂本亮太・北野隆亮・佐藤純一・藪部寿樹・関口博巨・弓倉弘年